

調査項目一覧

1 基本的属性について		P.6
1) 性別	4) 学歴	
2) 年齢	5) 在学・卒業	
3) 感染経路	6) 国籍	
	7) 階層帰属意識	
2 HIV関連の健康状態と健康管理		P.7
1) CD4細胞数	5) HIV診療での通院頻度	
2) HIVウイルス量	6) すべての診療での通院頻度	
3) エイズ発症	7) 定期受診している病気、けが、妊娠	
4) 抗HIV薬の服用回数	8) この1年間の入院日数	
	8-1) この1年間の入院理由	
3 ふだんの健康状態と健康行動		P.10
1) 主観的な健康感	7) 喫煙	
2) 健康問題による日常生活への影響	7-1) 喫煙本数と喫煙開始年齢	
3) 自覚症状	8) 飲酒	
4) すいみん時間	8-1) 飲酒の回数と量	
5) すいみんでの問題	9) メンタルヘルス (K6尺度)	
6) すいみん薬・安定剤の使用		
4 HIV陽性とわかった当時とその後の生活		P.15
1) HIV検査機関	8) 告知時の就労の有無	
2) HIV告知年	8-1-1) 【就労者に】告知時の就労形態	
3) HIV告知を受けた地域	8-1-2) 【就労者に】告知時の雇用形態	
4) HIV告知時のエイズ発症	8-2) 【非就労者に】告知時の職業	
5) 感染可能性の認識	9) 告知後の離転職	
6) 居住地	9-1) 離職理由	
7) 告知後の居住地移動		
7-1) 【転居した人に】転居理由		
5 世帯や生計、制度の利用		P.21
1) 同居者	5) 健康保険	
2) 世帯の家計主	6) 健康診断	
3) 世帯の年収	7) 障害者手帳	
3-a) 世帯の収入源	8) 障害者雇用制度での就労の有無	
3-b) もっとも主な収入源	9) 障害者雇用制度の利用意向	
4) 暮らし向き	10) 障害者雇用制度の評価	
6 ふだんの生活と人間関係		P.25
1) 地域活動・社会活動・陽性者ネットワーク	6) 将来の生活設計	
2) 周囲の人たちへの病名開示	7) 病気による制約感	
3) HIV開示しての就学・就労の相談先	8) HIV告知以降の生活意識変化	
4) 主治医からの就労アドバイス	9) HIVによる差別回避行動	
5) 将来の就労意向	10) 差別経験	
7 就労について		P.31
1) 就労の有無		
8 就労の状況		P.31
1) 1か月の就労日数	6) 職種	
2) 1週間の就労日数と時間	7) 勤務先の企業規模	
3) 健康問題による休暇・休業	8) 勤務先の業種	
4) 就労収入	9) 職場でプライバシー漏洩が不安な事項	
5) 雇用形態	10) 仕事・職場の評価	
9 非就労の状況		P.37
1) 非就労の理由	3) 就労希望	
2) 就労準備状況	3-1) 就労希望者の非就労期間	
	4) 就労や就職活動の問題点	
10 日本のエイズ対策への評価		P.39
1) 行政、医療、社会のエイズ対策評価		
11 薬物について		P.39
1) ドラッグ使用経験の有無	2) 必要な薬物の情報や相談	
1-1) 種類別薬物使用経験	3) 薬物の相談先	
1-2) 薬物開始時期		
1-3) 薬物使用量のコントロール感		
1-4) 今後の利用意向		

■ 単純集計結果 ■

結果の読み取りに際して

- ・「%」は、欠損値を除いて集計した。
- ・各表の下に付したコメントの数値のうち、2項目以上を加算している場合は、度数から再計算している。そのため、表中の値を単純加算した値とは必ずしも一致しない。
- ・複数回答の質問（1つの質問に対して2つ以上の選択肢を選ぶ質問形式）の場合、回答した人の人数を「全体」で示し、それぞれの選択肢に回答した人数の「全体」に対する割合を「%」で示している。そのため、合計すると100.0%を超える場合がある。
- ・健康状態は、回答がHIV陽性者自身によるものであるため、医学的診断とは必ずしも一致しない。

1. 基本的属性について

1) 性別

Q. 性別

回答者の93.5%が男性で、女性は6.5%。

	n	%
男性	343	93.5
女性	24	6.5
その他	0	0.0
合計	367	100.0
無回答	2	
	369	

2) 年齢

Q. 年齢

平均45.9±12.0歳、22~76歳まで広く分布している。60歳以上が17.4%、65歳以上は8.4%。

	n	%
20~24歳	7	1.9
25~29歳	20	5.4
30~34歳	36	9.8
35~39歳	64	17.4
40~44歳	57	15.5
45~49歳	53	14.4
50~54歳	36	9.8
55~59歳	30	8.2
60~64歳	33	9.0
65~69歳	22	6.0
70~74歳	7	1.9
75~79歳	2	0.5
合計	367	100.0
無回答	2	
	369	

3) 感染経路

Q. あなたのHIV感染経路と思うもの（複数回答）

同性間の性的接触が感染経路という人は74.6%、異性間の性的接触という人が22.7%、感染経路が不明とする人は7.1%。

	n	%
異性間の性的接触	83	22.7
同性間の性的接触	273	74.6
注射器の共用	6	1.6
血液凝固因子製剤	6	1.6
血液凝固因子製剤 の二次・三次感染	3	0.8
輸血	7	1.9
その他	4	1.1
不明	26	7.1
全体	366	
無回答	3	
全体	369	

2. HIV関連の健康状態と健康管理

4) 学歴

Q. 最終学歴（学生の方は在学先）
大学卒業以上が39.9%と多い。

	n	%
小・中学校	28	7.7
高校	110	30.3
専門学校	68	18.7
短大・高専	12	3.3
大学	133	36.6
大学院	12	3.3
合計	363	100.0
無回答	6	
	369	

5) 在学・卒業

Q. 上記の学校の在学・卒業

	n	%
在学中（休学を含む）	6	1.7
卒業	311	89.6
中退	30	8.6
合計	347	100.0
無回答	22	
	369	

6) 国籍

Q. 国籍

調査票レベルの日本語読み書きが可能な方を調査対象としたため、外国籍の方が3.0%と少ない。

	n	%
日本	356	97.0
日本以外	11	3.0
合計	367	100.0
無回答	2	
	369	

7) 階層帰属意識

Q. 世間一般の暮らしぶりを6つに区分すると、あなたの世帯はどの辺りにあてはまると思いますか

中流という方が65.6%と多いが、下流とした方も32.0%。

	n	%
上の上	2	0.6
上の下	7	1.9
中の上	103	28.4
中の下	135	37.2
下の上	80	22.0
下の下	36	9.9
合計	363	100.0
無回答	6	
	369	

1) CD4細胞数

Q. 直近のCD4値（個/ μ l）

500個/ μ l以上の方が41.3%と最も多い。全体の82.1%の人は200個/ μ l以上である。

	n	%
～99	25	7.0
100～	22	6.1
200～	61	17.0
350～	85	23.7
500～	148	41.3
分からない	17	4.7
合計	358	100.0
無回答	11	
	369	

2) HIVウイルス量

Q. 直近のHIVウイルス量

74.5%の人がウイルス量を検出限界以下に抑えている

	n	%
検出限界以下	266	74.5
検出された	67	18.8
分からない	24	6.7
合計	357	100.0
無回答	12	
	369	

3) エイズ発症

Q. エイズ発症

エイズ発症経験がある人は37.0%

	n	%
経験あり	133	37.0
経験なし	208	57.9
分からない	18	5.0
合計	359	100.0
無回答	10	
	369	

4) 抗HIV薬の服用回数

Q. 抗HIV薬の1日の服用回数

94.8%の人が抗HIV薬を服用している。52.2%の人は1日1回の服用。

	n	%
1回	189	52.2
2回	147	40.6
3回以上	7	1.9
休薬中	1	0.3
服薬を始めている	18	5.0
合計	362	100.0
無回答	7	
	369	

5) HIV診療での通院頻度

Q. HIV診療での通院頻度

6) すべての診療での通院頻度

Q. HIVに加えて、その他の病気やけが、妊娠も含めて、すべての診療での通院頻度

HIV診療の通院頻度は、2ヶ月に1回の人が42.9%と最も多い。

HIV診療での通院頻度が1ヶ月に1回以上（1ヶ月2回以上+1ヶ月1回）の人は27.4%であるが、HIV以外の疾患等も含めると48.0%となる。

	H I V診療での通院頻度		すべての診療での通院頻度	
	n	%	n	%
1ヶ月に2回以上	3	0.8	47	13.4
1ヶ月に1回	96	26.6	121	34.6
2ヶ月に1回	155	42.9	126	36.0
3ヶ月に1回	103	28.5	54	15.4
4か月1回	3	0.8	1	0.3
5ヶ月以上に1回	1	0.3	1	0.3
合計	361	100.0	350	100.0
無回答	8		19	
	369		369	

7) 定期受診している病気、けが、妊娠

Q. HIV感染症以外で、定期的に診察を受けている病気、けが、妊娠（複数回答）

63.1%の人はHIV感染症以外の疾患等で定期受診している。「歯・口腔の病気」は16.6%、「うつ・心・精神の病気」は10.8%など、多様な目的で受診している。「その他」は、皮膚疾患、整形外科関連の疾患や障害を挙げた人が多かった。

	n	%
糖尿病	21	6.1
高脂血症	18	5.2
高血圧症	26	7.6
心臓の病気	10	2.9
B型肝炎	13	3.8
C型肝炎	12	3.5
腎臓病・透析	6	1.7
胃腸病・痔	11	3.2
うつ・心・精神の病気	37	10.8
依存症	4	1.2
がん	3	0.9
アレルギー疾患	23	6.7
血友病・血液凝固因子症	6	1.7
歯・口腔の病気	57	16.6
眼の病気	30	8.7
骨折・けが	9	2.6
HIV以外の性感染症	9	2.6
婦人科系の病気	4	1.2
妊娠・出産	1	0.3
その他	29	8.4
とくになし	127	36.9
全体	344	
無回答	25	
全体	369	

定期受診疾患等数

	n	%
1種類	136	39.5
2種類	59	17.2
3種類	17	4.9
4種類	2	0.6
5種類	1	0.3
6種類	2	0.6
とくになし	127	36.9
合計	344	100.0
無回答	25	
	369	

HIV以外で定期受診している疾患等の数は、21種類のうち1種類を挙げた人が全体の39.5%、2種類以上挙げた人は23.5%

8) この1年間の入院日数

Q. HIVに関わらず、この1年間の入院日数

過去1年間に入院した人は16.0%で、84.0%は入院していない。

	n	%
1～9日間	22	6.1
10～29日間	19	5.2
30日間以上	16	4.4
日数不明	1	0.3
入院なし	304	84.0
合計	362	100.0
無回答	7	
	369	

8-1) この1年間の入院理由

Q. この1年間に入院した理由 (複数回答)

この1年間に入院した人の入院理由は、「HIV関連の疾患や症状」と「HIV関連の服薬や副作用」で50.9%。

「HIVとの関連は不明の疾患や症状」も22.8%。

HIV関連だけでなく、「HIVやC型肝炎とは関連のない疾患やけが」24.6%や、「妊娠・出産」1.8%。

「C型肝炎」は3.5%。

	n	%	「入院あり」	
			n	の%
HIV関連の服薬や副作用	6	1.7	6	10.5
C型肝炎	2	0.6	2	3.5
HIV関連の疾患や症状	23	6.4	23	40.4
HIVやC型肝炎とは関連のない疾患やけが	14	3.9	14	24.6
HIVとの関連は不明の疾患や症状	13	3.6	13	22.8
妊娠・出産	1	0.3	1	1.8
その他	3	0.8	3	5.3
入院なし	304	84.2		
全体	361	100.0	57	100.0
無回答 (入院理由)	1		1	
無回答	7			
全体	369		58	

3 ふだんの健康状態と健康行動

1) 主観的な健康感

Q. あなたの現在の健康状態

主観的健康感は65.0%がよい（「よい」「まあよい」）、7.5%がよくない（「あまりよくない」「よくない」）と回答。

	n	%
よい	135	37.5
まあよい	99	27.5
ふつう	99	27.5
あまりよくない	24	6.7
よくない	3	0.8
合計	360	100.0
無回答	9	
	369	

2) 健康問題による日常生活への影響

Q. 現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか

影響が「ある」と感じている人は17.1%。

具体的には、「仕事・家事・学業（時間や作業量が制限される）」に影響があるとした人が最も多く、全体の9.0%。

	n	%
影響あり	61	17.1
影響なし	296	82.9
合計	357	100.0
無回答	12	
	369	

Q. 具体的には、どのようなことですか

具体的な、日常生活への影響

(複数回答)

	n	%	n	「影響あり」 の%
日常生活動作（起床、衣服着脱、食事、入浴等）	11	3.1	11	18.3
外出（時間や作業量などが制限）	16	4.5	16	26.7
仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限）	32	9.0	32	53.3
運動・スポーツ	21	5.9	21	35.0
その他	11	3.1	11	18.3
影響なし	296	83.1		
全体	356	100.0	60	
無回答（具体的な影響）	1		1	
無回答（主問）	12			
全体	369		61	

3) 自覚症状

Q. この数日、病気やけがなどで体の具合の悪いところがありますか。どのような症状ですか

自覚症状がある人は50.4%。具体的には、「体がだるい」14.6%、「肩こり」13.7%、「腰痛」12.6%、「皮膚のかゆみ」10.9%、「下痢」10.1%の順（全体の%）。

			愁訴 (複数回答)		
			「症状あり」の%		
	n	%		n	%
ある	180	50.4	全身	熱がある	12 3.4
ない	177	49.6		体がだるい	52 14.6
合計	357	100.0		眠れない	29 8.1
無回答	12			いらいらしやうい	18 5.0
	369			もの忘れ	16 4.5
				頭痛	29 8.1
				めまい	20 5.6
			胸・呼吸	どうき	9 2.5
				息切れ	10 2.8
				胸の痛み	5 1.4
				ゼイゼイする	8 2.2
				せき・たん	30 8.4
				鼻づまり・鼻水	26 7.3
			腹・消化	胃のもたれ・胸やけ	23 6.4
				吐き気	16 4.5
				下痢	36 10.1
				便秘	10 2.8
				食欲がない	8 2.2
				腹痛・胃痛	11 3.1
				ぢの痛み/出血	9 2.5
			目耳口歯	目のかすみ	25 7.0
				物を見づらい	22 6.2
				耳なりがする	13 3.6
				きこえにくい	9 2.5
				歯が痛い	10 2.8
				かみにくい	4 1.1
				歯ぐきのはれ・出血	19 5.3
			手足肩腰	肩こり	49 13.7
				腰痛	45 12.6
				手足の関節が痛む	19 5.3
				手足の動きが悪い	10 2.8
				手足のしびれ	30 8.4
				手足が冷える	13 3.6
				足のむくみ・だるさ	12 3.4
			皮ふ	発疹(じんま疹/でき物)	28 7.8
				かゆみ(しっしん/水虫など)	39 10.9
			尿・生理	尿が出にくい・痛い	4 1.1
				尿の回数が多い	18 5.0
				尿失禁・困れる	3 0.8
				月経不順・目経痛	1 0.3
			けが・他	骨折・ねんざ・脱きゆう	1 0.3
				切り傷・やけどなどのけが	4 1.1
				その他	5 1.4
			自覚症状なし		177 49.6
			全体		357 100.0
			無回答(主問)		12
			全体		369

4) すいみん時間

Q. この1ヶ月間の、1日の平均睡眠時間

「6時間以上7時間未満」が38.9%と多い。5時間未満も8.5%。

	n	%
5時間未満	31	8.5
5時間～	79	21.6
6時間～	142	38.9
7時間～	76	20.8
8時間～	32	8.8
9時間以上	5	1.4
合計	365	100.0
無回答	4	
	369	

5) すいみんでの問題

Q. この1ヶ月間に、寝どこに入っても寝つきが悪い、途中で目が覚める、朝早く目覚める、熟睡ができないなど、眠れないことがありましたか

60.2%の人が睡眠に問題を感じている（「頻繁にある」「時々ある」）。

	n	%
ひんぱんにある	59	16.2
時々ある	160	44.0
めったにない	100	27.5
まったくない	45	12.4
合計	364	100.0
無回答	5	
	369	

6) すいみん薬・安定剤の使用

Q. この1ヶ月間に、眠るために睡眠薬や安定剤などの薬を使いましたか

眠るために睡眠薬や安定剤などを「つねに」使う人が12.7%、「ときどき」と合わせると19.3%。

	n	%
まったく使わない	272	75.1
めったに使わない	20	5.5
ときどき使う	24	6.6
つねに使う	46	12.7
合計	362	100.0
無回答	7	
	369	

7) 喫煙

Q. たばこを吸いますか

喫煙率は32.3%（「ほぼ毎日」+「ときどき」）。禁煙した人も23.0%。

	n	%
ほぼ毎日吸う	102	27.9
時々吸う	16	4.4
やめた	84	23.0
吸わない	163	44.7
合計	365	100.0
無回答	4	
	369	

7-1) 喫煙本数と喫煙開始年齢

Q. （喫煙する方に）喫煙本数と喫煙開始年齢

1日21本以上たばこを吸う人は全体の4.4%。

	n	%
1～10本	38	10.5
11～20本	61	16.9
21本以上	16	4.4
吸わない	247	68.2
合計	362	100.0
無回答（主問）	4	
無回答	3	
	369	

	n	%
17歳以下	24	6.7
18～19歳	20	5.6
20歳以上	65	18.3
吸わない	247	69.4
合計	356	100.0
無回答（主問）	4	
無回答	9	
	369	

8) 飲酒

Q. お酒を飲みますか

飲酒率は57.5%。やめた人も6.3%。

	n	%
飲む	210	57.5
やめた	23	6.3
飲まない	132	36.2
合計	365	100.0
無回答	4	
	369	

8-1) 飲酒の回数と量

Q. (お酒を飲む方に) 飲む回数と飲む量

毎日飲酒する人は全体の8.0%。

1回の飲酒で3合以上は全体の15.5%。

	n	%
月1~3日	84	23.2
週1~2日	52	14.4
週3~4日	21	5.8
週5~6日	21	5.8
毎日	29	8.0
飲まない	155	42.8
合計	362	100.0
無回答 (主問)	4	
無回答	3	
	369	

	n	%
1合未満	36	10.3
1合くらい	57	16.3
2合くらい	47	13.5
3~4合	33	9.5
5合以上	21	6.0
飲まない	155	44.4
合計	349	100.0
無回答 (主問)	4	
無回答	16	
	369	

9) メンタルヘルス (K6尺度)

Q. この1ヶ月の間に、どれくらいのひん度で次のことがありましたか

メンタルヘルスの評価はK6尺度を用いた。K6スケールは、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として利用されている。6つの質問について5段階(0~4点)で点数化し(合計0~24点)、合計が高いほど精神的な問題がより重い可能性があると考えられている。厚生労働省が実施する「国民生活基礎調査」において一般住民対象に実施されている。5点以上が41.6%、より深刻な状態とされる13点以上は9.5%。

精神健康についての質問 (K6尺度)

	n	まったく				合計	無回答	合計
		ない	少しだけ	ときどき	たいてい			
神経過敏に感じましたか	195	77	55	16	17	360	9	369
	%	54.2	21.4	15.3	4.4	4.7	100.0	
絶望的だと感じましたか	197	86	48	13	17	361	8	369
	%	54.6	23.8	13.3	3.6	4.7	100.0	
そわそわ、落ち着かなく感じましたか	205	87	48	13	9	362	7	369
	%	56.6	24.0	13.3	3.6	2.5	100.0	
気分が沈み込んで、何が起っても 気が晴れないように感じましたか	157	113	56	19	17	362	7	369
	%	43.4	31.2	15.5	5.2	4.7	100.0	
何をするのも骨折りだと感じましたか	189	98	45	16	13	361	8	369
	%	52.4	27.1	12.5	4.4	3.6	100.0	
自分は価値のない人間だと 感じましたか	188	79	56	20	19	362	7	369
	%	51.9	21.8	15.5	5.5	5.2	100.0	

K6スケールの合計得点分布

	n	%
0~4点	209	58.4
5~9点	84	23.5
10~14点	42	11.7
15点以上	23	6.4
合計	358	100.0
無回答	11	
	369	

	n	%
0~4点	209	58.4
5~12点	115	32.1
13点以上	34	9.5
合計	358	100.0
無回答	11	
	369	

4 HIV陽性とわかった当時とその後の生活口

1) HIV検査機関

Q. HIV陽性とわかった時の、最初の検査はどこでしたか

医療機関（「診療所」「外来」「入院」）が74.4%、公的検査所（「保健所」「常設検査施設」）が17.1%、「献血」が4.7%。

	n	%
保健所	49	13.5
常設検査施設	13	3.6
自己検査キット	1	0.3
郵送検査キット	3	0.8
診療所・クリニック	26	7.2
病院（外来）	131	36.1
病院（入院）	113	31.1
妊娠・出産時の検査	1	0.3
イベントでの検査	5	1.4
献血	17	4.7
その他	4	1.1
合計	363	100.0
無回答	6	
	369	

2) HIV告知年

Q. HIV陽性告知を受けたのはいつでしたか

2011年以降というこの数年内に感染が判明した人が30.1%を占める。

	n	%
1987	2	0.6
1988	3	0.9
1989	1	0.3
1990	4	1.2
1992	3	0.9
1993	5	1.4
1994	1	0.3
1995	3	0.9
1996	3	0.9
1997	3	0.9
1998	7	2.0
1999	7	2.0
2000	11	3.2
2001	9	2.6
2002	12	3.5
2003	15	4.3
2004	14	4.1
2005	14	4.1
2006	12	3.5
2007	29	8.4
2008	33	9.6
2009	25	7.2
2010	25	7.2
2011	47	13.6
2012	34	9.9
2013	23	6.7
合計	345	100.0
無回答	24	
	369	

HIV告知年(再集計)

	n	%
～1995	22	6.4
1996～2000	31	9.0
2001～2005	64	18.6
2006～2010	124	35.9
2011～	104	30.1
合計	345	100.0
無回答	24	
	369	

3) HIV告知を受けた地域

Q. HIV陽性告知を受けた病院や保健所は、どこの都道府県または国にありましたか
調査票配付病院は23都道府県であるが、感染判明施設は33都道府県に及んでいる。

	n	%
北海道	8	2.2
秋田県	4	1.1
茨城県	20	5.6
栃木県	2	0.6
群馬県	27	7.5
埼玉県	13	3.6
千葉県	6	1.7
東京都	69	19.2
神奈川県	30	8.3
新潟県	4	1.1
山梨県	12	3.3
長野県	7	1.9
岐阜県	26	7.2
静岡県	3	0.8
三重県	1	0.3
愛知県	11	3.1
福井県	9	2.5
石川県	1	0.3
滋賀県	9	2.5
京都府	13	3.6
大阪府	9	2.5
兵庫県	1	0.3
奈良県	1	0.3
岡山県	1	0.3
広島県	4	1.1
山口県	9	2.5
香川県	1	0.3
福岡県	2	0.6
長崎県	6	1.7
熊本県	13	3.6
宮崎県	3	0.8
鹿児島県	11	3.1
沖縄県	21	5.8
海外	3	0.8
合計	360	100.0
無回答	9	
	369	

4) HIV告知時のエイズ発症

Q. HIV陽性告知を受けた際、エイズを発症していましたか
30.7%の人は告知時に既にエイズ発症していた

	n	%
発症していた	111	30.7
発症していなかった	218	60.4
わからない	32	8.9
合計	361	100.0
無回答	8	
	369	

5) 感染可能性の認識

Q. HIV陽性告知を受ける前、HIVに感染している可能性はどの程度あるとお考えでしたか

陽性告知を受ける前に「HIV感染の可能性が(かなり/ある程度)ある」と考えていた人は47.1%で、52.9%の人は「可能性はない(まったくない/ほとんど)」とっていた。

	n	%
かなりある	22	6.1
ある程度ある	147	40.9
ほとんどない	121	33.7
まったくない	69	19.2
合計	359	100.0
無回答	10	
	369	

6) 居住地

Q. 「HIV陽性告知を受けた当時」と「現在」の居住地

居住地：HIV陽性とわかった当時		
	n	%
北海道	9	2.5
秋田県	4	1.1
茨城県	19	5.3
栃木県	1	0.3
群馬県	29	8.0
埼玉県	15	4.2
千葉県	9	2.5
東京都	63	17.5
神奈川県	31	8.6
新潟県	4	1.1
山梨県	12	3.3
長野県	8	2.2
岐阜県	29	8.0
静岡県	3	0.8
三重県	1	0.3
愛知県	7	1.9
福井県	10	2.8
滋賀県	10	2.8
京都府	16	4.4
大阪府	5	1.4
兵庫県	2	0.6
奈良県	1	0.3
広島県	4	1.1
山口県	9	2.5
香川県	1	0.3
福岡県	2	0.6
長崎県	6	1.7
熊本県	13	3.6
宮崎県	3	0.8
鹿児島県	11	3.0
沖縄県	21	5.8
海外	3	0.8
合計	361	100.0
無回答	8	
	369	

居住地：現在		
	n	%
北海道	10	2.8
秋田県	4	1.1
茨城県	17	4.7
栃木県	1	0.3
群馬県	29	8.0
埼玉県	11	3.0
千葉県	6	1.7
東京都	62	17.2
神奈川県	30	8.3
新潟県	5	1.4
山梨県	18	5.0
長野県	10	2.8
岐阜県	28	7.8
静岡県	1	0.3
愛知県	1	0.3
福井県	11	3.0
滋賀県	11	3.0
京都府	22	6.1
大阪府	1	0.3
広島県	3	0.8
山口県	10	2.8
香川県	2	0.6
福岡県	1	0.3
長崎県	7	1.9
熊本県	16	4.4
宮崎県	3	0.8
鹿児島県	13	3.6
沖縄県	27	7.5
日本	1	0.3
合計	361	100.0
無回答	8	
	369	

7) 告知後の転居

Q. HIV陽性告知を受けて以降、転居しましたか

31.3%の人がHIV判明後に転居している。

転居理由は、個人的な事情と、仕事の都合や生活改善のためが多い。

HIVとの関連で、全体の5.8%の人が「HIV治療のため」、1.1%が「HIVで居づらくなった」、2.2%が「福祉サービスの質や種類」、3.0%が「障害者手帳が取得しづらかった」ことを挙げていた。

	n	%
転居した	113	31.3
転居していない	248	68.7
合計	361	100.0
無回答	8	
	369	

(7-1) 【転居した人に】

Q. 転居した理由は何でしたか

(複数回答)

	n	%	「転居した」 113名中の%
HIVの治療のため	21	5.8	18.6
障害者手帳が取得しづらかったため	11	3.0	9.7
福祉サービスの質や種類のため	8	2.2	7.1
生活の改善のため	24	6.6	21.2
仕事の都合	28	7.8	24.8
HIVのため居づらくなったため	4	1.1	3.5
その他の個人的な事情から	58	16.1	51.3
転居していない	248	68.7	
全体	361	100.0	
無回答 (主問)	8		
全体	369		

8) 告知時の就労の有無

Q. HIV陽性告知を受けた当時、収入をとまなう仕事をしていましたか (自営の手伝いや内職も含む)

HIV告知を受けた当時就労していた人は82.5%であった。

	n	%
就労していた (休職中を含む)	297	82.5
就労していなかった	63	17.5
合計	360	100.0
無回答	9	
	369	

8-1-1) 【就労者に】告知時の就労形態

Q. HIV陽性告知を受けた当時の働き方

主に就労していた人が全体の71.1%と多い。

	n	%
主に就労	253	71.1
家事などのかたわら就労	9	2.5
通学のかたわら就労	4	1.1
仕事を休んでいた、休職中	27	7.6
就労していなかった	63	17.7
合計	356	100.0
無回答 (主問)	9	
無回答	4	
	369	

8-1-2) 【就労者に】告知時の雇用形態

Q. HIV陽性告知を受けた当時の雇用形態（休職中だった方は休職前）

	n	%
自営業（個人/家族経営）	32	8.9
事業主（従業員を雇用）	12	3.3
家族従業員	2	0.6
公務員（常勤）	23	6.4
企業・団体の役員	4	1.1
企業・団体の正社員	135	37.6
契約社員	26	7.2
嘱託職員	4	1.1
パート・アルバイト	39	10.9
派遣社員	14	3.9
その他	5	1.4
就労していなかった	63	17.5
合計	359	100.0
無回答（主問）	9	
無回答	1	
	369	

8-2) 【非就労者に】告知時の職業

Q. HIV陽性の告知を受けた当時の職業は何でしたか

HIV告知を受けた当時、学生だった人は4.2%、専業主婦・主夫だった人は1.9%、無職だった人は11.4%。

	n	%
専業主婦・主夫	7	1.9
学生	15	4.2
無職	41	11.4
就労していた	297	82.5
合計	360	100.0
無回答（主問）	9	
	369	

9) 告知後の離転職

Q. HIV陽性告知を受けて以降、離転職をしましたか。した方は、仕事をやめた回数を教えて下さい
HIV判明後に離職した人は40.2%。

	n	%
した	140	40.2
していない	208	59.8
合計	348	100.0
無回答	21	
	369	

	n	%
1回	60	18.2
2回	30	9.1
3~4回	22	6.7
5回以上	10	3.0
離転職していない	208	63.0
合計	330	100.0
無回答（主問）	21	
無回答（Q3_9_回数）	18	
	369	

9-1) 離職理由

Q. もっとも最近の離職の理由は何でしたか（複数回答）

直近の離職の理由は、「精神的な問題」が最も多く、次いで「体力的な問題」、「より良い条件の仕事を探すため」の順。

	n	%	n	「離転職した」 136名中の%
会社の倒産・事業所閉鎖	10	2.9	10	7.4
人員整理・勸奨退職	16	4.7	16	11.8
事業不振や先行き不安	12	3.5	12	8.8
定年・雇用契約の満了	14	4.1	14	10.3
よりよい条件の仕事を探すため	28	8.1	28	20.6
仕事よりも健康や生活を重視して	19	5.5	19	14.0
体力的な問題	33	9.6	33	24.3
健康管理上の都合（服薬・通院・入院など）	23	6.7	23	16.9
精神的な問題	41	11.9	41	30.1
職業訓練や技術習得	9	2.6	9	6.6
HIVに対する偏見でいづらくなった	9	2.6	9	6.6
休職可能な期間を越えた治療が必要であった	9	2.6	9	6.6
HIVによる解雇	12	3.5	12	8.8
結婚・出産・育児・介護・看護のため	3	0.9	3	2.2
その他	14	4.1	14	10.3
離転職していない	208	60.5		
全体	344	100.0	136	
無回答（離職理由）	4		4	
無回答（主問）	21			
全体	369			

5 世帯や生計、制度の利用

1) 同居者

Q. 現在、あなたが同居している人は誰ですか（複数回答）

37.0%の人は一人で暮らしている。同居者がいる人は、「父母」との同居が33.7%、「夫・妻」が19.3%、「パートナー」が7.7%、「子」が11.0%。

	n	%
ひとり暮らし	134	37.0
同居者あり	228	63.0
夫・妻	70	19.3
パートナー・恋人	28	7.7
友人	6	1.7
子	40	11.0
父母	122	33.7
祖父母	6	1.7
きょうだい	30	8.3
その他	10	2.8
全体	362	
無回答	7	
全体	369	

2) 世帯の家計主

Q. 世帯全体の家計を「主に」支えている人は誰ですか（年金や生活保護が主な方は受給者）

65.1%の人は世帯全体の家計を主で支えている。

	n	%
あなたご自身	235	65.1
夫・妻	15	4.2
パートナー・恋人	16	4.4
子	1	0.3
父母	61	16.9
きょうだい	6	1.7
その他	4	1.1
あなたと同居者と等分	23	6.4
合計	361	100.0
無回答	8	
全体	369	

3) 世帯の年収

Q. 世帯全体の、昨年1年間の収入について

3-a) 世帯の収入源

Q. 世帯全体の収入源（複数回答）

自分の就労収入が70.1%と最も多く、次いで同居者の就労収入26.0%。

	n	%
自分の就労収入	253	70.1
同居者の就労収入	94	26.0
仕送り・援助	14	3.9
事業・内職・農業収入	12	3.3
家賃・利子・配当金	15	4.2
預貯金の取りくずし	32	8.9
障害年金	26	7.2
その他の年金・恩給	63	17.5
失業給付	4	1.1
傷病手当	6	1.7
生活保護	30	8.3
薬害被害の健康管理費用	2	0.6
薬害被害の発症者健康管理手当	1	0.3
その他	5	1.4
全体	361	
無回答	8	
全体	369	

3-b) もっとも主な収入源

Q. 世帯全体のもっとも「主な」収入源（1つ）

56.9%の人は自身の就労収入が世帯全体のもっとも主な収入源としている。

年金が主な収入源の人は、障害年金1.8%、その他年金10.5%。（親等本人以外の年金も含む）

	n	%
自分の就労収入	189	56.9
同居者の就労収入	50	15.1
仕送り・援助	3	0.9
事業・内職・農業収入	5	1.5
家賃・利子・配当金	3	0.9
預貯金の取りくずし	6	1.8
障害年金	6	1.8
その他の年金・恩給	35	10.5
失業給付	1	0.3
生活保護	29	8.7
薬害被害の発症者健康管理手当	1	0.3
その他	2	0.6
自分と同居者の就労収入	2	0.6
合計	332	100.0
無回答	37	
	369	

4) 暮らし向き

Q. 現在の暮らしの状況を総合的にみてどう感じていますか

暮らし向きの評価を、ゆとりがある（「大変」「やや」）人は12.9%、苦しい（「大変」「やや」）とした人は47.7%。

	n	%
大変苦しい	45	12.4
やや苦しい	128	35.3
ふつう	143	39.4
ややゆとりがある	40	11.0
大変ゆとりがある	7	1.9
合計	363	100.0
無回答	6	
	369	

5) 健康保険

Q. HIV治療で利用している健康保険はどれですか

国民健康保険が38.8%、組合保険が30.3%。加入していない人のほとんどは生活保護。

	n	%
組合保険	108	30.3
協会けんぽ	41	11.5
共済組合	24	6.7
その他被用者保険	4	1.1
国民健康保険	138	38.8
家族の保険の被扶養者	9	2.5
後期高齢者医療制度	4	1.1
加入していない	28	7.9
合計	356	100.0
無回答	13	
	369	

6) 健康診断

Q. この1年間、健康保険組合や市区町村、職場の健康診断を受けましたか（診察や治療のための検査は除く）

48.7%の人は地域や職場の健康診断を受けていない。

	n	%
受けた	184	51.3
受けていない	175	48.7
合計	359	100.0
無回答	10	
	369	

7) 障害者手帳

Q. 障害者手帳を取得していますか。取得している人は等級も教えてください（複数回答）

91.3%は免疫機能障害で障害認定を受けている。受けていない人も7.3%。等級は、免疫機能障害では2級が39.7%、3級が30.8%と多い。

(複数回答)		
	n	%
免疫機能障害/HIV	325	91.3
肢体不自由	5	1.4
じん臓機能	1	0.3
精神障害	6	1.7
その他	8	2.2
いずれも取得していない	26	7.3
全体	356	
無回答	13	
全体	369	

障害者手帳：等級

		1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	合計	無回答 (主問)	無回答 (等級)	合計		
		n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n		
免疫機能障害/HIV	n	77	24.4	125	39.7	97	30.8	16	5.1	315	13	31	10	369
	%									100.0				
肢体不自由	n			1	20.0	1	20.0	2	40.0	5	13	351		369
	%									100.0				
じん臓機能	n	1	100.0							1	13	355		369
	%									100.0				
精神障害	n	1	16.7	1	16.7	4	66.7			6	13	350		369
	%									100.0				
知的障害	n										13	356		369
	%													
その他	n	2	25.0	2	25.0	2	25.0	1	12.5	1	12.5	8	13	348
	%									100.0				

8) 障害者雇用制度での就労の有無

Q. 障害者雇用制度で就労したことがありますか

障害者雇用制度で現在就労している人は5.5%、過去に就労していた人は2.5%。

	n	%
かつてこの制度で就労していた	9	2.5
現在この制度で就労したことはない	20	5.5
制度を知らない	294	81.2
合計	39	10.8
無回答	362	100.0
	7	
	369	

9) 障害者雇用制度の利用意向

Q. 今後、障害者雇用制度を利用する意向がありますか

今後、障害者雇用制度の利用意向がある人（利用したい+利用してみてもよい）は44.8%

	n	%
利用したい	53	14.8
利用してみてもよい	107	30.0
利用するつもりなし	197	55.2
合計	357	100.0
無回答	12	
	369	